

第85期

横浜丸魚Report

2020.4.1 ▶ 2021.3.31



横浜丸魚株式会社

Top Message 代表挨拶



横浜丸魚株式会社
代表取締役社長 芦澤 豊

2020年度は新型コロナウイルスの感染拡大により、全世界が大きな影響を受けた一年でありました。我が国でも行動制限や自粛に始まり、なかなか終息の兆しが見えない中で様々な活動が抑制されました。横浜丸魚グループにおいても、ウイルスという目に見えない脅威への対策を講じながら、事業活動を続けてまいりました。従業員の休業制度の新設やリモートによる会議や打合せ体制の構築、またセリ場や納入の現場でもあらゆる感染防止対策をとり、働き方が大きく変わった一年でありました。現在も様々な形で痛みや苦しみを抱えている方々に心よりお見舞いを申し上げます。

2020年度の当社グループの主力事業領域であります水産物流通業界におきましては、巣ごもり需要による量販店の売上拡大があったものの、Goto事業の後押しによる外食産業の回復は緊急事態宣言の再発出により停止となり、新型コロナウイルス感染拡大の懸念による影響が大きく、業績は以下の通り厳しい環境のまま推移いたしました。

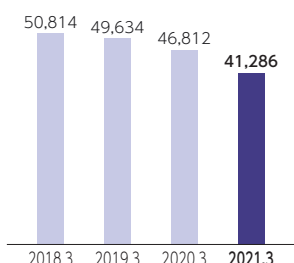
Financial Highlights 決算ハイライト

詳細はこちらをご覧ください。



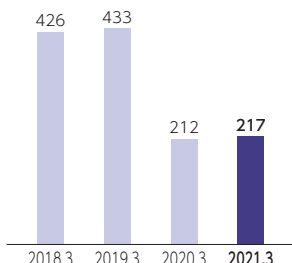
売上高

41,286 百万円
(前連結会計年度比11.8%減)
(単位:百万円)



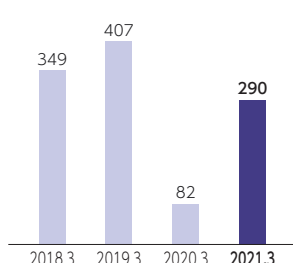
経常利益

217 百万円
(前連結会計年度比2.4%増)
(単位:百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益

290 百万円
(前連結会計年度比251.1%増)
(単位:百万円)



1株当たり当期純利益

41.65 円
(前連結会計年度比255.9%増)
(単位:円)

